

科目ナンバー	C4307	要件	教職必修	授業形態	演習	対象学生	I A B
授業科目	音楽の基礎 (理論・ピアノ実技基礎)						
実施期	通年	単位数	2単位	授業担当者	青山・小川・高宮・島田・山本		
〔科目の概要〕							
学生個々のレベルに適した課題として、本学作成のグレード表に設定したピアノ練習曲（バイエル）、マーチ、童謡を学習する。日常の練習と授業でのレッスンを通して各グレードの課題達成へのフィードバックと目標への確認を行い、その学習成果・学習課題を明確に示していく。音楽の基礎理論とピアノ実技の基礎的奏法を学び、発表の機会として演奏テストを実施する。							
〔この科目を通して獲得を目指す力〕							〔関連DP〕
ア	音楽の基礎となる知識を習得している。						1-e
イ	音楽表現に必要な技術を身に付けている。						2-d
ウ	音楽的知識や技能向上について考えることができる。						3-d
エ	音楽への知見を拡げようとしている。						4-c
〔授業の内容〕				〔実施日〕	〔授業時間外学習の内容〕		
1	講義の年間計画概要説明、各自のレベルの確認			月 日	練習曲・理論への予習（2時間）		
2	練習曲のレッスン（理論：音の高さ）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
3	練習曲のレッスン（理論：音の長さや休符）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
4	練習曲のレッスン（理論：正確なリズム）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
5	練習曲のレッスン（理論：付点のリズム）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
6	練習曲のレッスン（理論：三和音）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
7	練習曲のレッスン			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
8	第1回テスト「練習曲の演奏発表」とレッスン			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
9	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G1）			月 日	課題のピアノ練習と予習（2時間）		
10	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G2, 3）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
11	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G4, 5）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
12	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G7）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
13	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G8）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
14	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G9）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
15	第2回テスト「練習曲、マーチ、童謡（和音伴奏）弾き歌いの演奏発表」とレッスン（獲得を目指す力の確認）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
16	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G7, 8, 9の復習）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
17	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G7, 8, 9の復習）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
18	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G10）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
19	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G10）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
20	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G10）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
21	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G11）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
22	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G11）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
23	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G11）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
24	第3回テスト「練習曲、子守歌、童謡弾き歌いの演奏発表」とレッスン			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
25	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G12）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
26	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G12）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
27	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G13）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
28	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（G13）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
29	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（全体）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
30	練習曲、童謡の弾き歌いのレッスン（全体）（獲得を目指す力の確認）			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
31	第4回テスト「練習曲、マーチ、童謡弾き歌いの演奏発表」			月 日	課題のピアノと歌唱の練習と予習（2時間）		
〔教科書・テキスト〕 幼児の歌と遊びの曲、バイエル、ミュージックワークブック				〔成績評価の方法〕 授業への関心・意欲・態度 10%、毎回のレッスンの達成度 30%、4回のテスト結果 60%			
〔参考書・教材〕							
〔履修要件及び履修上の注意事項〕 毎日の練習の大切さを理解し、予習・復習に励むこと。							
〔履修上の遵守事項〕 遅刻3回で欠席1回とする。15分以上の遅刻をした学生は欠席扱いとする。実技のため24回以上の出席を厳守すること。							
〔連絡先・オフィスアワー〕 連絡先： 青山 N20研究室 小川 N18研究室 オフィスアワー：							

＜チェックシート＞				
基準		レベル1	レベル2	レベル3
指標				
ア①	音符や記号の読み方を理解し、正しく楽譜を読む力	ト音記号、ヘ音記号での音の高さと音の長さの判断ができる。	拍子を理解し、譜面上の音符を読むことができる。	譜面上に表示されたものを全て理解できる。
ア②	ハ・ニ・ヘ・ト・イを主音とする各長調の音階と3和音の仕組みを理解し、伴奏に使用して適切に弾く力	各調の音階と3和音が理解できる。	各調の音階と3和音を理解し、3和音を使用して伴奏ができる。	音階と3和音の仕組みを理解し、アレンジした伴奏ができる。
イ①	バイエルの必修曲を第66番以上弾く力	バイエルの必修曲を66番まで弾くことができる。	バイエルの必修曲を66番まで、正確な運指や適切なテンポで弾くことができる。	バイエルの必修曲の66番以上を、音楽的な表現を用いて演奏することができる。
イ②	伴奏を付けた明快な歌声による演奏表現力	本学作成のグレード13までの童謡を、和音を用いて弾き歌いができる。	本学作成のグレード13までの童謡を、和音や楽譜の伴奏を用いて弾き歌いができる。	本学作成のグレード13以上の童謡を、自ら伴奏を考え明快な歌声で表現豊かに弾き歌いができる。
ウ	課題達成への計画性	与えられた曲を毎日練習することができる。	できないポイントを理解し効果的な練習ができる。	練習の目的・内容の理解を伴って計画的に練習ができる。
エ	童謡を調べ聴く、歌うことの表現や知見の拡充への意欲	知らない曲は、いろいろと調べて知るようにしている。	季節や活動に適した曲を考え提示できる。	季節や活動に適したその場に相応しい曲を演奏できる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等				

